



土木施工管理システム [エクストレンド武蔵]

セットアップガイド

目次

新規導入編 1

- 1. プロテクトを確認します 2
- 2. プログラムの一括インストール 3
- 3. BTXA(BTV)⇒建設CAD コンバーターのインストール 6
- 4. 各種資料のインストール 7
- 5. プログラムの初回起動とFCコンシェルジュのユーザー登録 8
- 6. 入力専用ライセンスの初期設定 11
- [補足1] 入力専用ライセンスの使い方 14
- [補足2] バックアップの手順 17
- [補足3] ネット認証ライセンス(LAN)のセットアップ手順 18
- [補足4] SNS-LAN-X のセットアップ手順 20
- [補足5] JSP-LAN-R のセットアップ手順 23

Q&A 25

- [Q.1] データのバックアップ先にCDやDVDを指定したのですが、バックアップできません。 26
- [Q.2] 「Antenna House PDF Driver」とはなんですか? 26
- [Q.3] 「積算連携ツール」とはなんですか? 26
- [Q.4] ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか? 27
- [Q.5] プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。 28
- [Q.6] ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。 30
- [Q.7] USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。 31
- [Q.8] USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス管理について教えてください。 32
- [Q.9] 「FCコンシェルジュ」では何ができるのでしょうか?使い方を教えてください。 33

セットアップの前に確認してください



Check

セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



Check

セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



Check

データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVD など)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

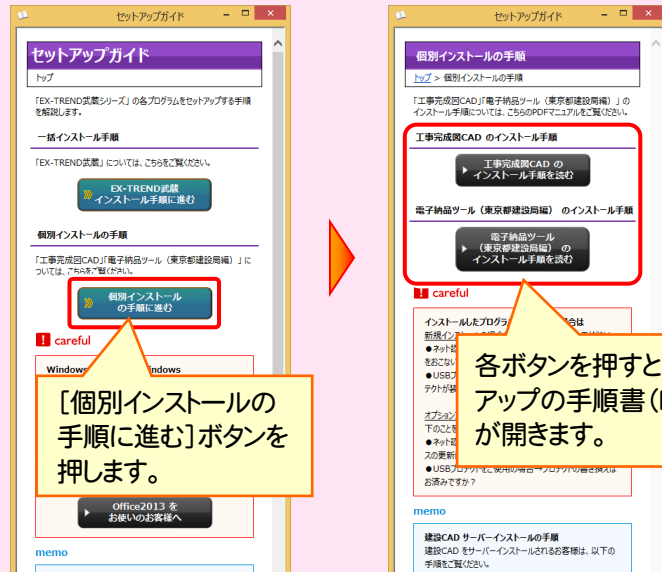
注意

個別インストールのプログラムについては、セットアップガイド(PDF)を参照してください

一括インストールでインストールされないプログラム

- 工事完成図CAD
- 電子納品ツール(東京都建設局編)

のインストール手順については、「インストールDVD」の起動時に表示される「セットアップガイド」から、「個別インストールの手順」を参照してください。



注意

建設CADの「スタンドアロンインストール」と「サーバークライアントインストール」について

建設CADには、「スタンドアロンインストール」と「サーバークライアントインストール」の、2種類のインストール方法があります。

－ スタンドアロンインストールとは － (通常の一括インストールでは、こちらになります。)

すべてのファイルを
1台のコンピューター
にインストールします。

1台のコンピューターで
設定ファイルを管理します。



－ サーバークライアントインストールとは －

設定ファイルをサーバーで管理します。



※ 「サーバークライアントインストール」のインストール手順については、「インストールDVD」の起動時に表示される「セットアップガイド」から、「個別インストールの手順」の「建設CADサーバーインストールの手順」(PDF)を参照してください。

※ 設定ファイルがサーバーで管理されるのは、「建設CAD」のみです。
建設CAD以外のプログラム(「インデックス」や「写真管理」など)の設定ファイルは、各クライアントで管理されます。

新規導入編

EX-TREND武蔵 を新規にセットアップする手順を解説します。

1. プロテクトを確認します	2
2. プログラムの一括インストール	3
3. BTXA(BTV)⇒建設CAD コンバーターの インストール	6
4. 各種資料のインストール	7
5. プログラムの初回起動と FCコンシェルジュのユーザー登録	8
6. 入力専用ライセンスの初期設定	11
 [補足1] 入力専用ライセンスの使い方	 14
[補足2] バックアップの手順	17
[補足3] ネット認証ライセンス(LAN)のセットアップ手順	18
[補足4] SNS-LAN-X のセットアップ手順	20
[補足5] JSP-LAN-R のセットアップ手順	23

「施工計画書作成支援」および「書類作成支援」を使用するためには、あらかじめ以下のバージョンの Excel がインストールされている必要があります。

- Microsoft Office Excel 2007 SP3以降
- Microsoft Office Excel 2010 (32ビット版)
- Microsoft Office Excel 2013 (32ビット版)

1. プロテクトを確認します

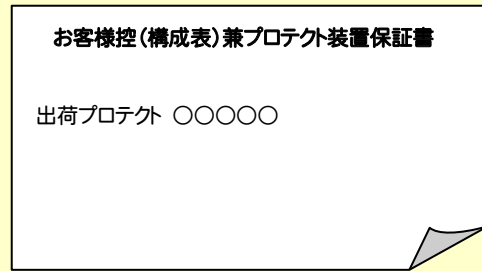
EX-TREND武蔵 のプロテクトには、

- ネット認証ライセンス(占有)
- ネット認証ライセンス(共有)
- ネット認証ライセンス(LAN)
- USBプロテクト【SNS-W】
- USBプロテクト【SNS-LAN-X】
- USBプロテクト【JSP-R】
- USBプロテクト【JSP-LAN-R】

があります。

ご購入されたプロテクトの形式を確認してください。

※ プロテクトの形式は、「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」にも記載されていますので、ご確認ください



プロテクトの形式

ネット認証ライセンス (占有)

ネット認証ライセンス (共有)

USBプロテクト【SNS-W】

USBプロテクト【JSP-R】

次ページへ

次ページへ進み、EX-TREND武蔵 のセットアップをおこなってください。

※ USBプロテクト【SNS-W】【JSP-R】は、まだコンピューターに装着しないでください。

ネット認証ライセンス (LAN)

ネット認証ライセンス (LAN) のお客様は、

P.18 [補足3] ネット認証ライセンス(LAN)のセットアップ手順

を参照して ネット認証ライセンス(LAN)をセットアップした後に、
次ページからの EX-TREND武蔵 のセットアップをおこなってください。

P.18へ

USBプロテクト【SNS-LAN-X】

SNS-LAN-X のお客様は、

P.20 [補足4] SNS-LAN-X のセットアップ手順

を参照して USBプロテクト【SNS-LAN-X】をセットアップした後に、
次ページからの EX-TREND武蔵 のセットアップをおこなってください。

P.20へ

※ USBプロテクト【SNS-LAN-X】は、まだサーバーに装着しないでください。

USBプロテクト【JSP-LAN-R】

JSP-LAN-R のお客様は、

P.23 [補足5] JSP-LAN-R のセットアップ手順

を参照して USBプロテクト【JSP-LAN-R】をセットアップした後に、
次ページからの EX-TREND武蔵 のセットアップをおこなってください。

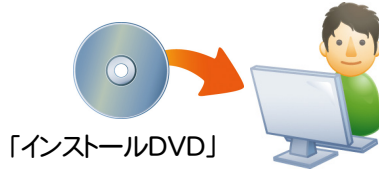
P.23へ

※ USBプロテクト【JSP-LAN-R】は、まだサーバーに装着しないでください。

2. プログラムの一括インストール

EX-TREND武蔵シリーズのプログラムを、一括インストールします。

1. コンピューターに「インストールDVD」をセットします。



※ USBプロテクト【SNS-W】【JSP-R】を使用する方は、まだコンピューターにプロテクトを装着しないでください。

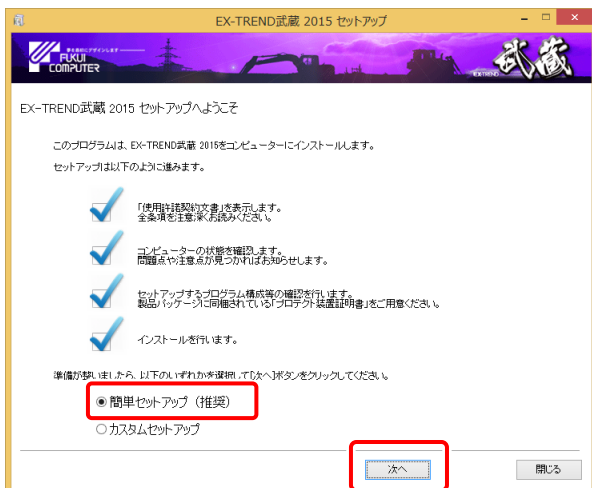
2. セットアップ画面の[一括インストール]を押します。



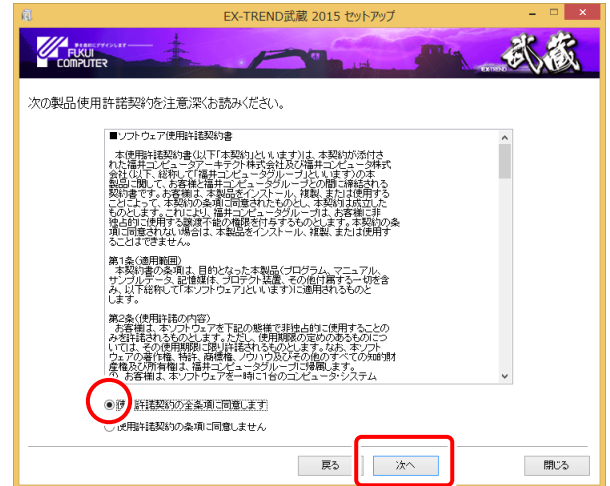
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、インストールします。

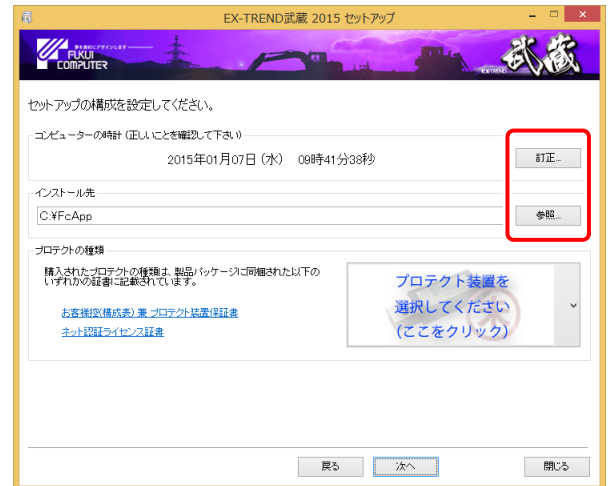
[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



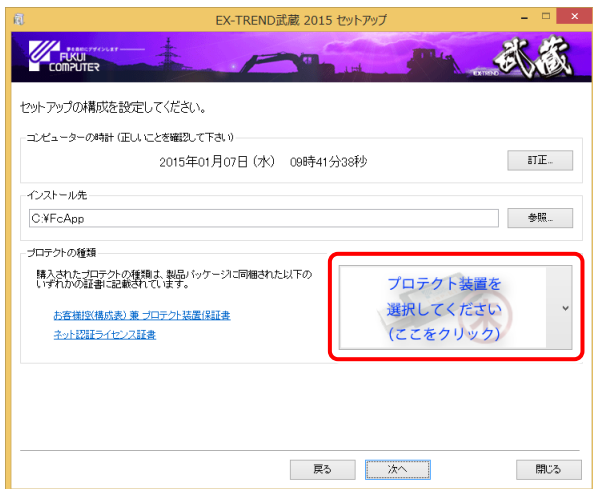
コンピューターの時計、インストール先フォルダを確認します。必要があれば、変更してください。



※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



使用するプロテクトの種類を、一覧から選択します。



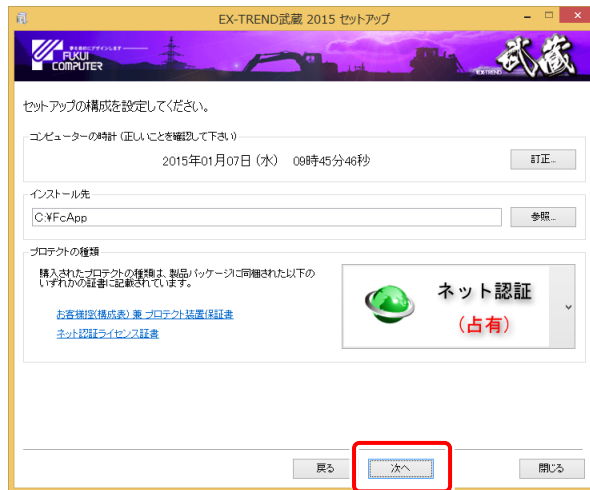
※ プロテクトの種類は、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

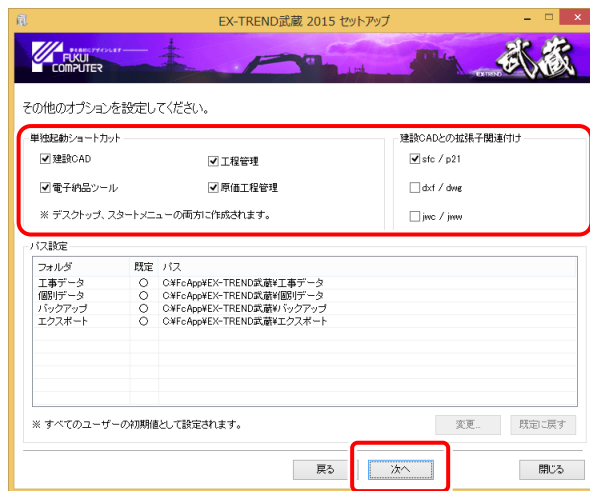
出荷プロテクト ○○○○

内容を確認して、[次へ]を押します。

(下画像は、「ネット認証ライセンス(占有)」を選択した場合)



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくても単体でプログラムを起動することができます。

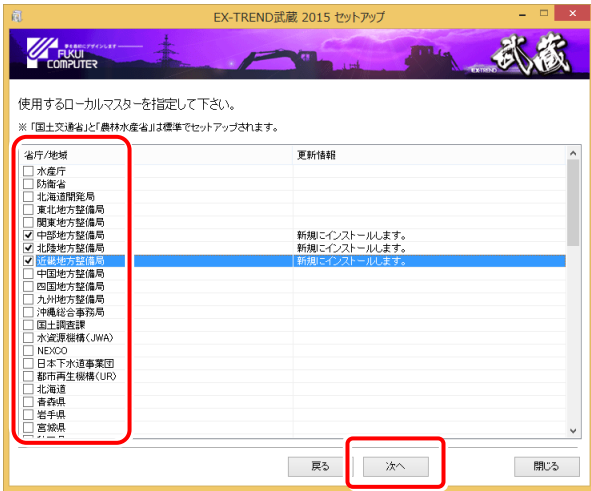
- ・単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
- ・建設CADの拡張子関連付け：sfc/p21 を「オン」

でインストールすることをお勧めします。

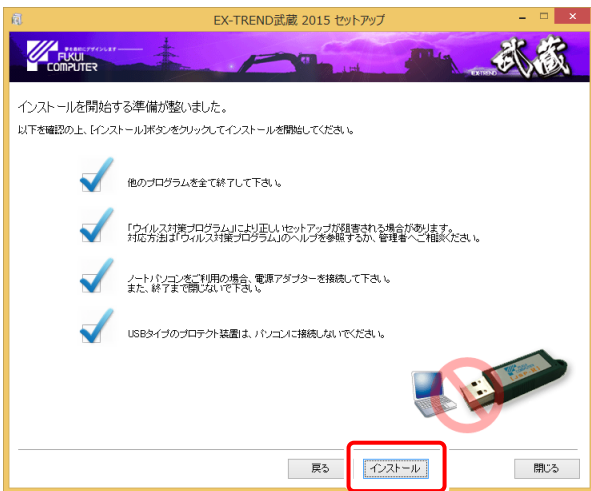
(次ページへ続く)

ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

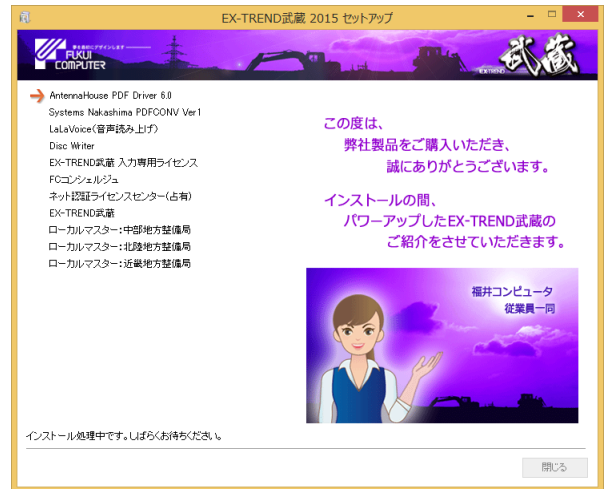
設定を終えたら、[次へ]を押します。



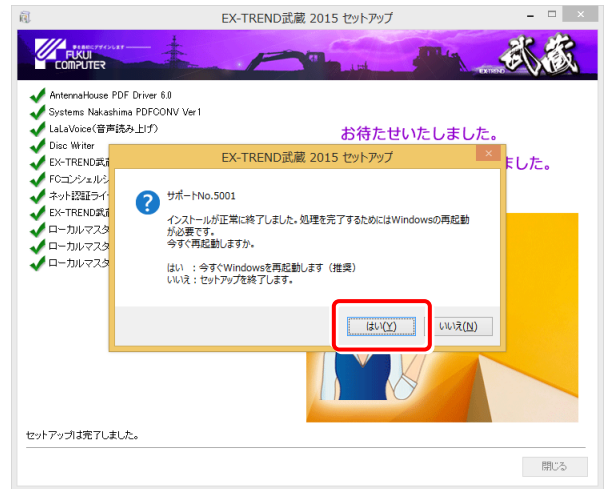
内容を確認して、[インストール]を押します。



プログラムのインストールが開始されます。



インストールは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動後、インストールの続きをおこなってください。



プログラムの一括インストールは完了です。

続いて次ページ「3. BTXA(BTV)⇒建設CAD コンバーターのインストール」に進みます。

USBプロテクト【SNS-W】または【JSP-R】を使用する場合は

一括インストールが完了しましたら、再起動後にコンピューターにプロテクトを装着してください。

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが使用可能になります。



3. BTXA (BTV) ⇒建設CAD コンバーターのインストール

EX-TREND武蔵の建設CADで、「BLUETREND XA」「BLUETREND V」「BLUETREND Win」「EX-TREND Win」のデータを取り込む可能性のある方は、「BTXA (BTV) ⇒建設CAD コンバーター」をインストールします。
 必要な場合はインストールしなくても構いません。

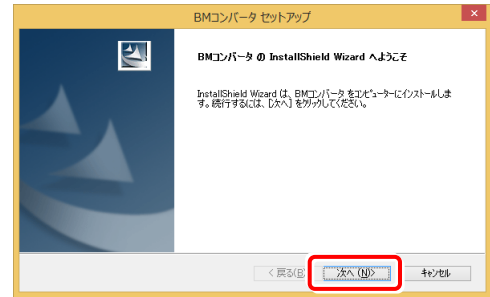
1. インストールDVDの[個別インストール]タブを選択します。



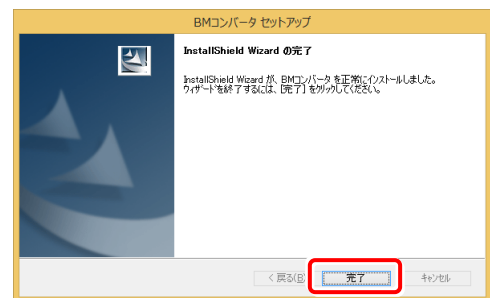
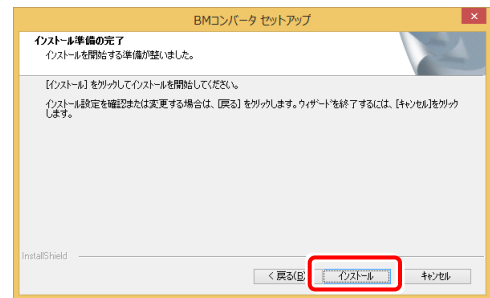
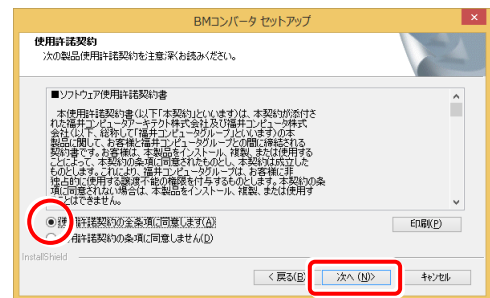
2. [BTXA (BTV) ⇒建設CAD コンバーター]を押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを行います。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



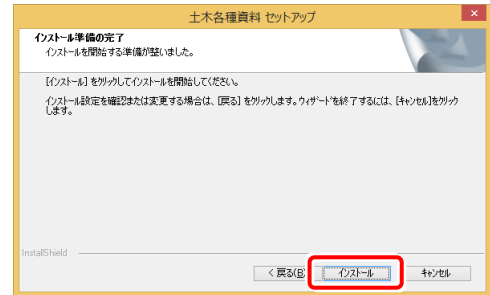
BTXA (BTV) ⇒建設CAD コンバーターのインストールは完了です。

続いて次ページ「4. 各種資料のインストール」に進みます。

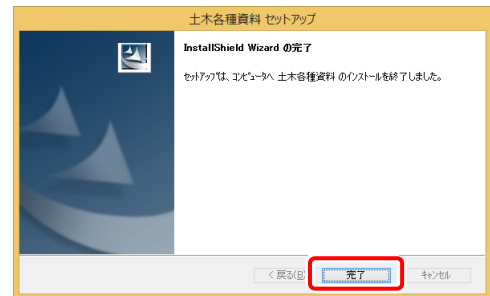
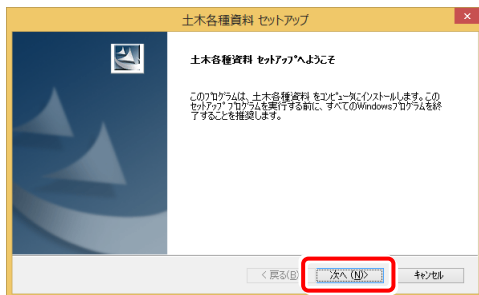
4. 各種資料のインストール

「各種資料」には、各アプリケーションのマニュアルや資料などが収められています。インストールすると、デスクトップに作成されるアイコンや各プログラムのヘルプメニューから、「各種資料」を参照することができます。(インストール推奨)
必要な場合はインストールしなくても構いません。

1. インストールDVDの[個別インストール]タブで、[各種資料のインストール]を押します。

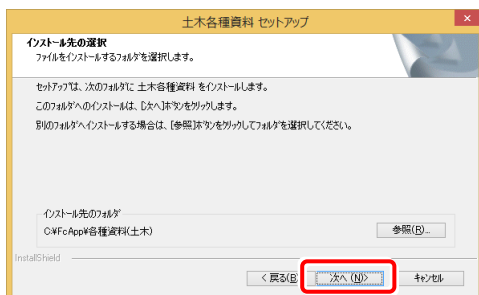


2. 表示される画面に従って、インストールを行います。



各種資料のインストールは完了です。
続いて次ページ「5. プログラムの初回起動とFCコンシェルジュのユーザー登録」に進みます。

インストール先を確認して次へ進みます。



5. プログラムの初回起動と FCコンシェルジュのユーザー登録

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。ネット認証ライセンス(占有)(共有)の場合は、「プロダクトIDの認証」もおこないます。

また「FCコンシェルジュのユーザー登録画面」が表示された場合は、ユーザー登録もおこなってください。

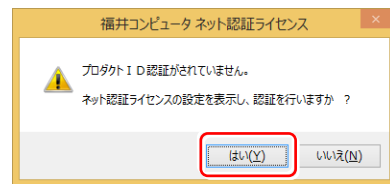
※ プロダクトIDの認証およびFCコンシェルジュのユーザー登録は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. デスクトップの[EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプロダクトIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.28 を参照してください。

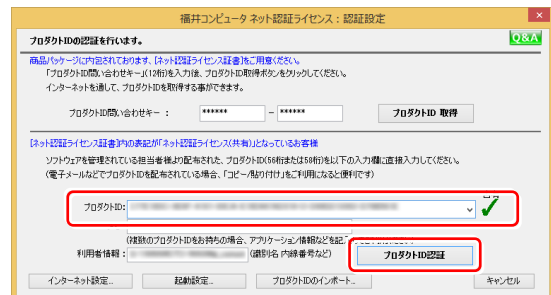
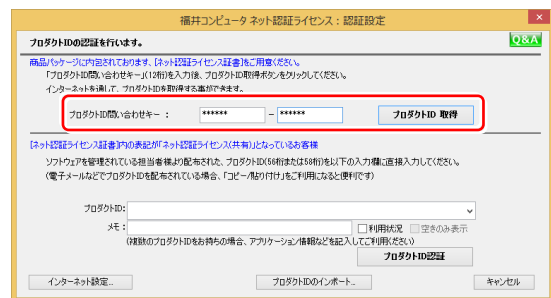
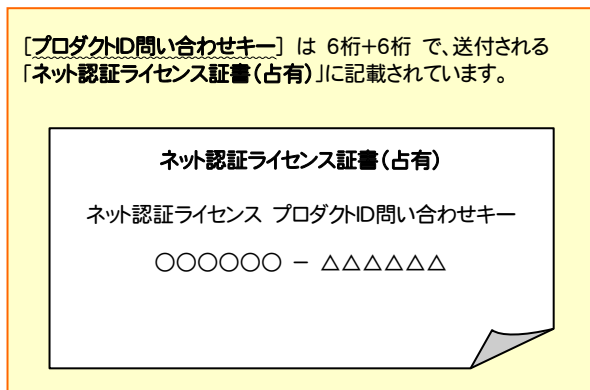


ネット認証ライセンス(占有)の場合、プロダクトID認証の手順

[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

[プロダクトID問い合わせキー]は6桁+6桁で、送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



(次ページへ続く)

「ネット認証ライセンス 認証および解除設定」画面が表示されます。(右画面)

お客様のご利用環境に合わせて、「ライセンスの使用方法」と「コンピューターのインターネット環境」を選択してください。

選択した内容により

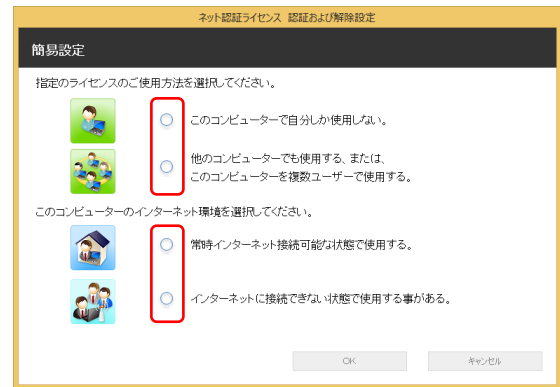
● ライセンス認証の設定

- ・ 製品起動時に自動認証
- ・ コンピューター起動時に自動認証
- ・ 手動で認証

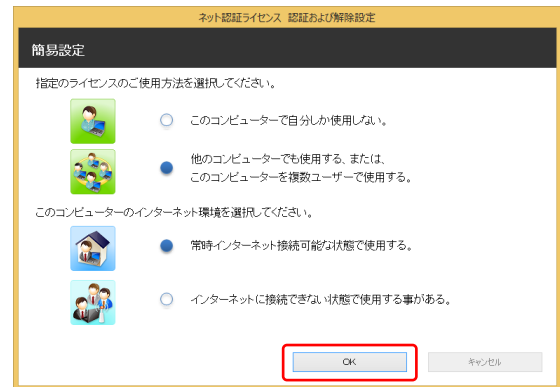
● ライセンス認証解除の設定

- ・ シャットダウン・ログオフ・再起動のときに解除
- ・ スリープのときに解除

が最適に設定されます。



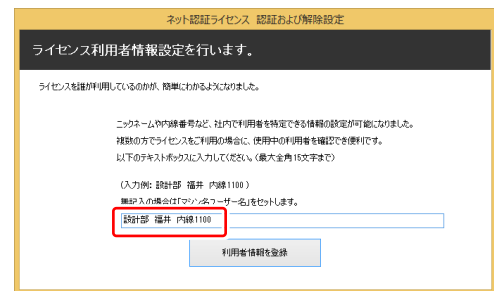
選択を終えたら、[OK]ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

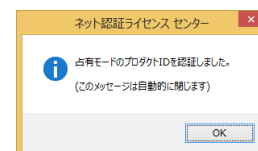
【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況(誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。



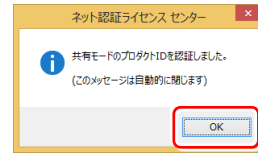
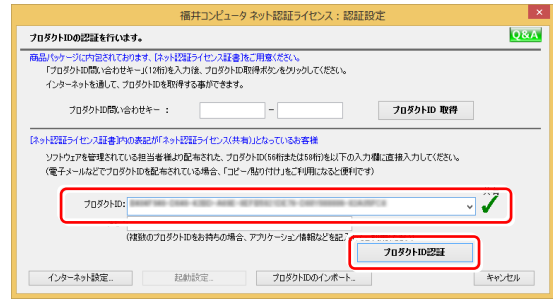
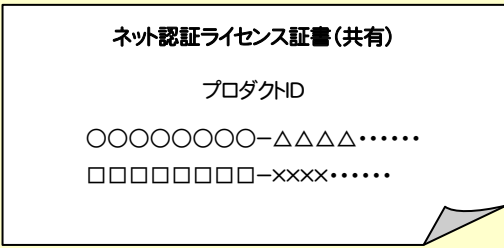
ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

[プロダクトID]に、ソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

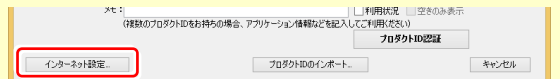
ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証に必要な「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピュータ)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. プログラムが起動されます。

続けて **FCコンシェルジュのオンラインユーザ登録画面** が表示された場合は、必要事項を記入してユーザー登録をおこなってください。登録が完了すると、「FCコンシェルジュ」が利用可能になります。

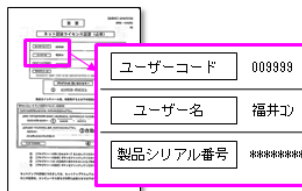
既にFCコンシェルジュでユーザー登録されている場合は、登録ユーザーの一覧が表示されます。使用するユーザーを選択すると、「FCコンシェルジュ」が起動されます。

FCコンシェルジュ では、インターネットを利用した各種サービスが提供されます。

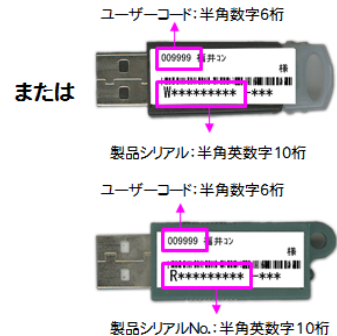
例えば製品情報や各地のイベント・セミナー情報、操作サポート情報がご覧になれます。またインストールされているプログラムのアップデートをおこなう事もできます。

※ FCコンシェルジュの登録に必要な「ユーザーコード」と「製品シリアル」については、右図を参照してください。

●製品に同梱されているネット認証ライセンス証書



●USBプロテクト裏面のシール



プログラムの初回起動と、FCコンシェルジュのユーザー登録は完了です。

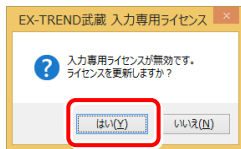
続いて次ページ「6. 入力専用ライセンスの初期設定」に進みます。

6. 入力専用ライセンスの初期設定

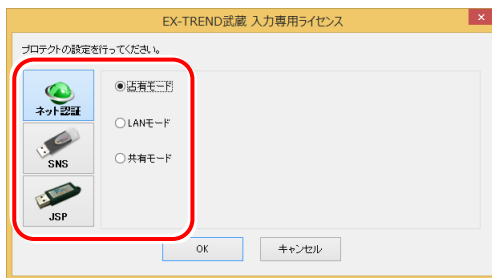
入力専用ライセンスを使用するためには、プロテクト装置(ネット認証ライセンス、USBプロテクト)からライセンス情報を取得しておく必要があります。ライセンス情報の取得時には、コンピューターに取得先のUSBプロテクトを装着した状態(ネット認証の場合は、取得先のプロダクトIDを認証済みの状態)にしておいてください。

入力専用ライセンスを使用すると、ネット認証ライセンスを解除した状態、またはUSBプロテクトを外した状態でも、EX-TREND武蔵シリーズを使用することができます。ただしプログラムは、「入力専用」で動作します。「入力専用」では、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。

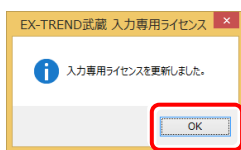
1. デスクトップの[入力専用ライセンス]をダブルクリックして起動します。



2. 使用されているプロテクト(ライセンスの取得先のプロテクト)を選択して、[OK]を押します。



LANモードのプロテクトを選択した場合は、プロテクトのサーバー名を入力してください。



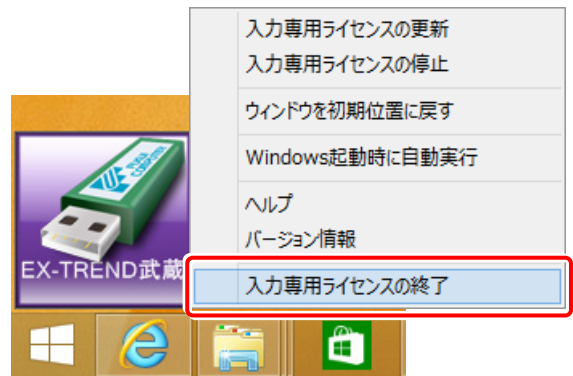
3. ライセンス情報が取得され、デスクトップ左下に、「入力専用ライセンス」が起動します。



4. 入力専用ライセンスは、使用しないときには終了させておきます。

起動させたままだと、プロテクトが装着されていても入力専用で動作してしまいます。

[入力専用ライセンス]でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから、[入力専用ライセンスの終了]コマンドを実行します。



入力専用ライセンスの初期設定は完了です。

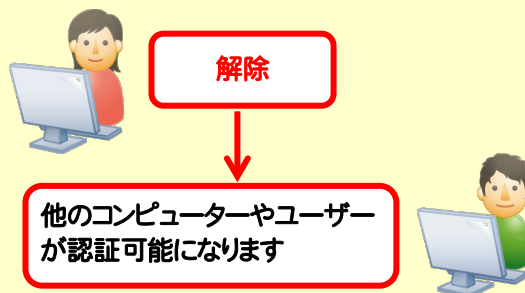
起動方法や機能などについては、P.14「入力専用ライセンスの使い方」を参照してください。

以上でセットアップは、すべて完了です

ネット認証ライセンス(占有)の解除方法

同じネット認証ライセンス(占有)を、他のユーザーまたは他のコンピュータで使用したい場合は、ネット認証を解除する必要があります。

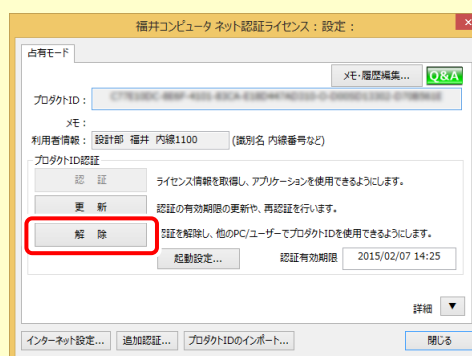
手動でネット認証ライセンスを解除したい場合は、以下の手順で解除してください。



FCコンシェルジュを使用している場合



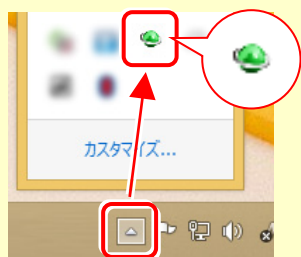
デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



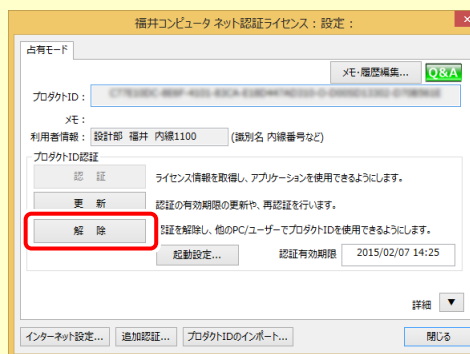
ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

FCコンシェルジュを使用していない場合



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。



ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除]を押すとネット認証が解除されます。

ネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更するには

現在設定されているネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更したい場合は、以下の方法で設定を変更します。

FCコンシェルジュを使用している場合

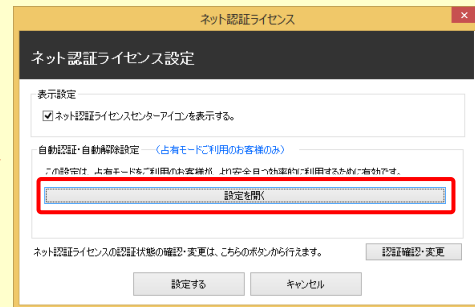


デスクトップのアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

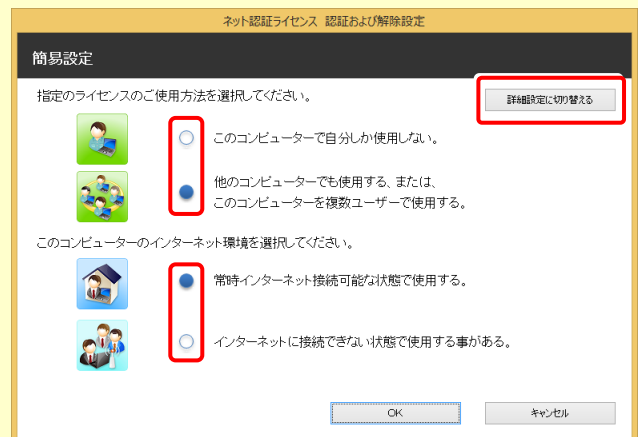


FCコンシェルジュが表示されます。
[ご案内]の[ネット認証ライセンス]をクリックします。

注意： ネット認証の際には、インターネットに接続されている必要があります。
インターネットに接続できない現場などに持ち出す場合は、自動解除を設定しないでください。また現場に持ち出す場合は、事前にネット認証を済ませておいてください。



[設定を開く]を押します。

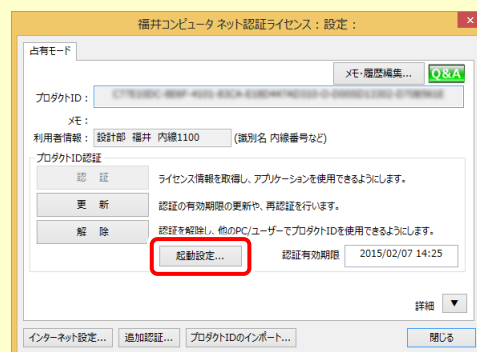


「使用方法」と「インターネット環境」を変更、または[詳細設定]で設定を変更します。変更後、[OK]ボタンを押してください。

FCコンシェルジュを使用していない場合



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。



[起動設定]を押します。

[補足1] 入力専用ライセンスの使い方

「入力専用ライセンス」を使用すると、ネット認証を解除した状態、またはUSBプロテクトを装着しない状態で、EX-TREND武蔵を使うことができます。

ただし「入力専用ライセンス」でプログラムが動作している時には、各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイル出力などはできません。



入力専用ライセンス
(起動すると画面左下に表示)

「入力専用ライセンス」の起動方法

- ネット認証ライセンス(占有)(共有)をお使いのお客様は、プロダクトIDを解除しておいてください。
- USBプロテクト【SNS-W】【JSP-R】をお使いのお客様は、USBプロテクトをコンピューターから外しておいてください。
- プログラムの起動前に、以下の手順で「入力専用ライセンス」を起動してください。

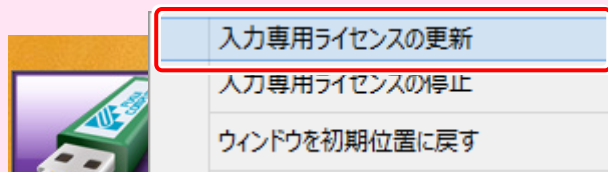


※ 「入力専用ライセンス」アイコンは、ドラッグで任意の位置に移動できます。次回起動時には、移動した位置に表示されます。

注意

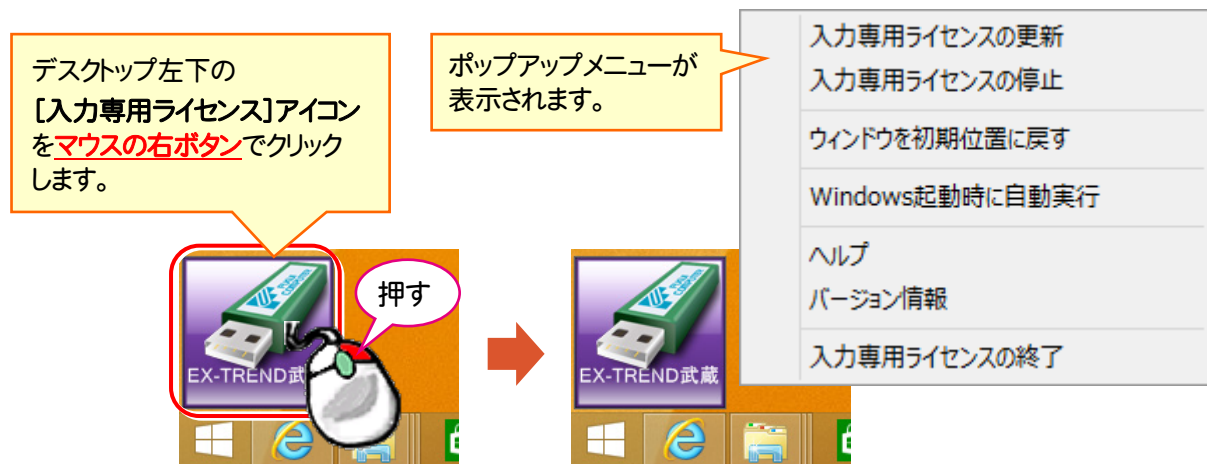
入力専用ライセンス 注意事項

- 「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」と、「入力専用ライセンス」の同時利用は出来ません。「入力専用ライセンス」が起動されている場合は、「入力専用ライセンス」が優先されます。
- バージョンアップやプログラム追加などで、ネット認証ライセンスの更新やUSBプロテクトの書き換えをおこなった場合は、「入力専用ライセンスの更新」が必要です。
「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューから、「入力専用ライセンスの更新」を実行してください。(右図)
- 「入力専用ライセンス」は、Windowsのログインアカウント毎に設定が必要です。
- 「入力専用ライセンス」で動作している場合、プログラムの[ヘルプ]-[バージョン情報]コマンドで表示される「ユーザーID」の末尾に、(入力専用ライセンス) と表示されます。
- 「Windowsの起動時に自動実行」をオンにすることで、次回ログイン時から自動で「入力専用ライセンス」が起動します。



「入力専用ライセンス」の機能

「入力専用ライセンス」を右クリックして表示されるポップアップメニューのコマンドについて解説します。



【入力専用ライセンスの更新】

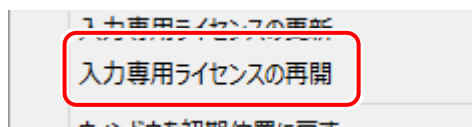
「ネット認証ライセンス」や「USBプロテクト」から、「入力専用ライセンス」のライセンス情報を更新します。

バージョンアップやオプションを追加した場合に、実行してください。

【入力専用ライセンスの停止】

「入力専用ライセンス」を一時的に停止します。

再開は、**【入力専用ライセンスの再開】**で行います。



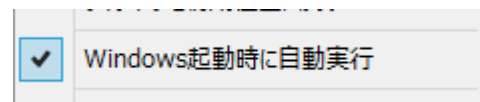
【ウインドウを初期位置に戻す】

「入力専用ライセンス」アイコンを初期位置(デスクトップ左下)に戻します。

【Windows起動時に自動実行】

「入力専用ライセンス」をWindowsの起動時に自動実行します。

オンの場合、コマンドの前にチェックマークが表示されます。



オフにするには、もう一度本コマンドを実行します。

【ヘルプ】

入力専用ライセンスの解説書(PDF)を開きます。

【バージョン情報】

「入力専用ライセンス」のバージョン情報を表示します。

【入力専用ライセンスの終了】

「入力専用ライセンス」を終了します。

「入力専用ライセンス」で成果物の印刷や出力をおこなうには

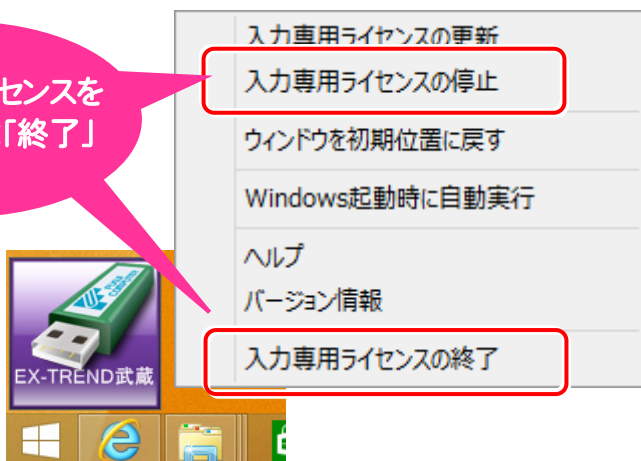
入力専用ライセンスでは各種データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷や出力などがおこなえません。

以下の手順で入力専用ライセンスを「停止」または「終了」した後、ネット認証ライセンスの認証やUSBプロテクトの装着をおこなって、プログラムを再起動する必要があります。

まず、データを保存して、プログラムを終了します。

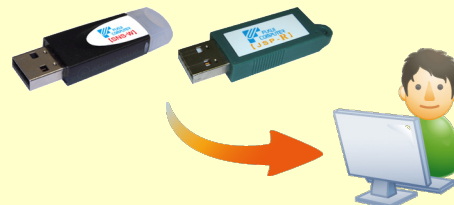


入力専用ライセンスを「停止」または「終了」します



プログラムを再起動します。

「USBプロテクト」をお使いの方は

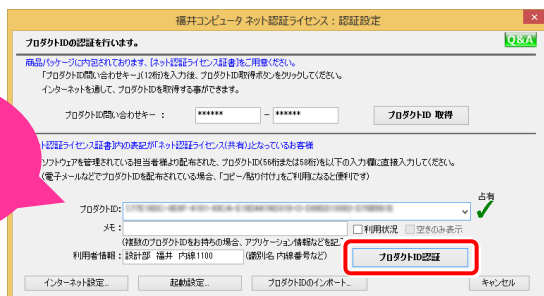


【SNS-W】【JSP-R】の場合は、USBプロテクトを装着してからプログラムを再起動してください。

【SNS-LAN-X】【JSP-LAN-R】の場合は、そのままプログラムを再起動してください。

入力専用ライセンスの認証設定画面が表示された場合は、プロダクトIDの認証をおこないます。

プロダクトIDを認証します



データを開き、成果物の印刷や出力をおこないます。

[補足2] バックアップの手順

EX-TREND武蔵2013、2014、2015の、工事データと設定のバックアップ手順を解説します。

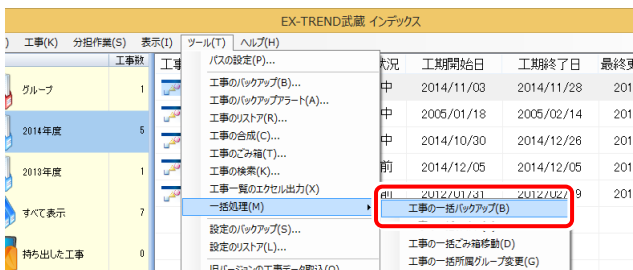
※ バックアップには時間がかかる場合があります。

※ 「インデックス」で管理していないデータのバックアップ手順については、各プログラムのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

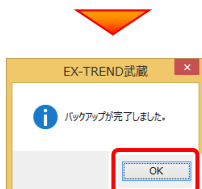
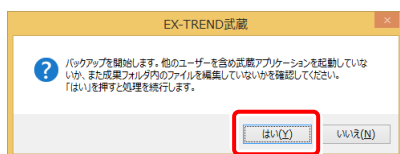
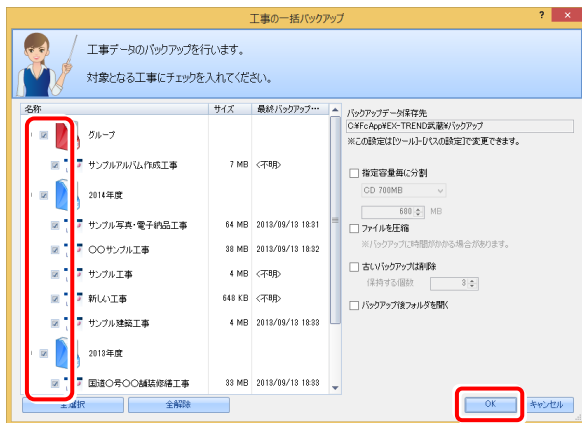
Step1 | 工事データのバックアップ

まず[工事の一括バックアップ]コマンドで、複数の工事を一括でバックアップします。

1. インデックスを起動し、[工事選択]画面で、[ツール]－[一括処理]－[工事の一括バックアップ]コマンドを実行します。



2. バックアップする工事のチェックボックスをオンにして、[OK]を押します。



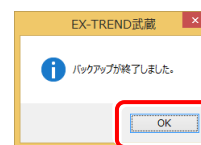
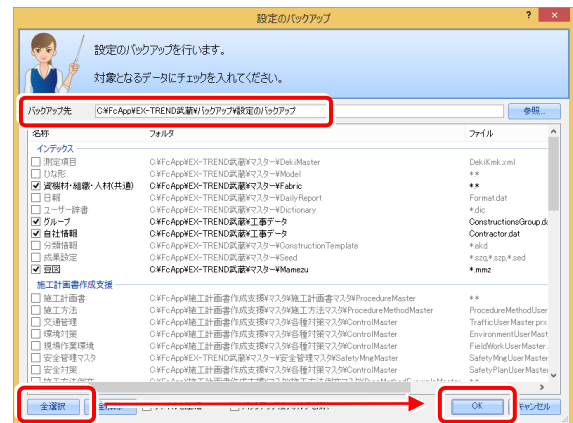
Step2 | 設定のバックアップ

次に[設定のバックアップ]コマンドで、設定ファイルをバックアップします。

1. インデックスの[工事選択]画面で、[ツール]－[設定のバックアップ]コマンドを実行します。



2. [バックアップ先]を入力します。入力後[全選択]を押し、[OK]を押します。



以上でバックアップは完了です

[補足3] ネット認証ライセンス(LAN)のセットアップ手順

ネット認証ライセンス(LAN)を使用される方は、使用するサーバーに「ネット認証LANサーバー」をインストールした後、プロダクトIDの認証をおこないます。

- ※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。
- ※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

1. ネット認証ライセンス(LAN)で使用するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。

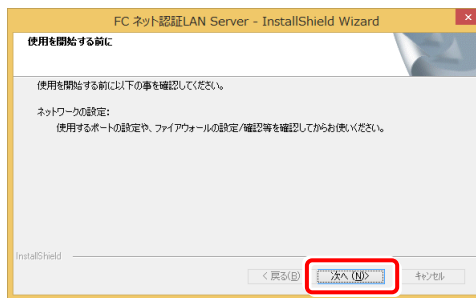
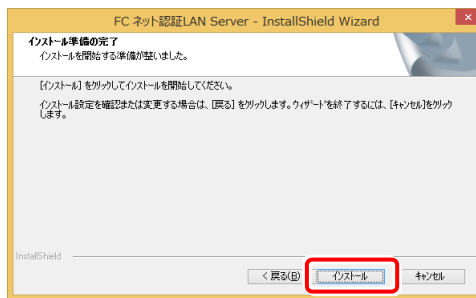
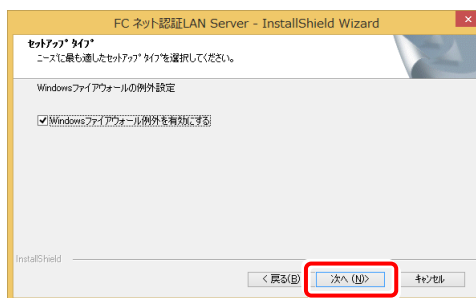
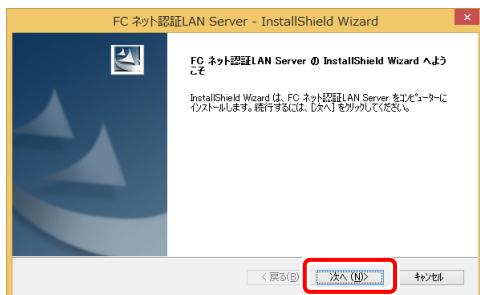


2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。

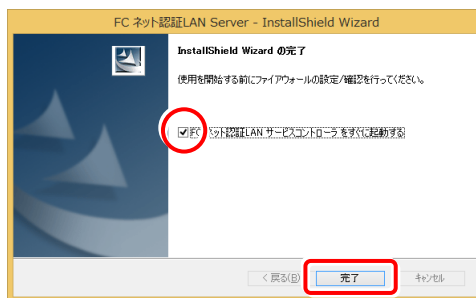


※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて[完了]を押します。

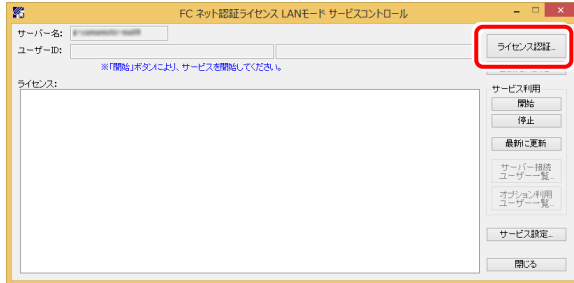


※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してから次の手順に進みます。

(次ページへ進みます)

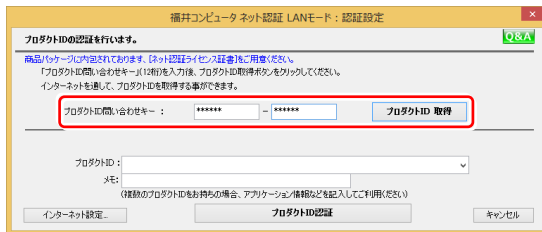
Step2 | プロダクトIDの認証(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面から[ライセンス認証]を押します。

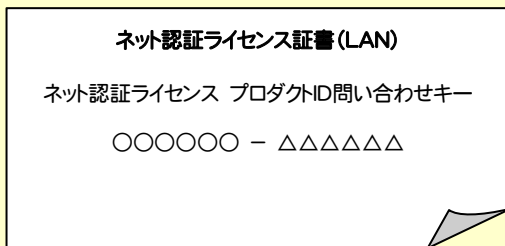


※ 上記画面が表示されていない場合は、「アプリ画面」から(Windows7/Vistaの場合はスタートメニューの「すべてのプログラム」から)「FC ネット認証LAN Server」の「FC ネット認証LAN サービスコントローラ」を起動してください。

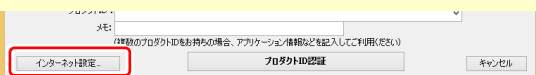
2. [認証設定]画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]を押します。



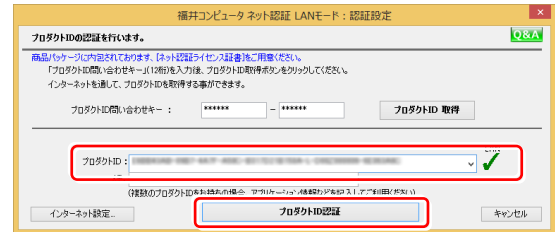
※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書(LAN)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. [プロダクトID]が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証]を押します。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でネット認証ライセンス(LAN)のセットアップは完了です。

続けてプログラムのインストールをおこなってください。

P.3へ

[補足4] SNS-LAN-X のセットアップ手順

USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用される場合は、ライセンス管理用のサーバーに、プロテクトドライバと「SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）」をインストールします。

※ サーバーが再起動されます。起動中のアプリケーションは終了しておいてください。

Step1 | システムセットアップ

1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



SNS-LAN-X用ライセンスCD (サーバー)

※ 重要!!

USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。

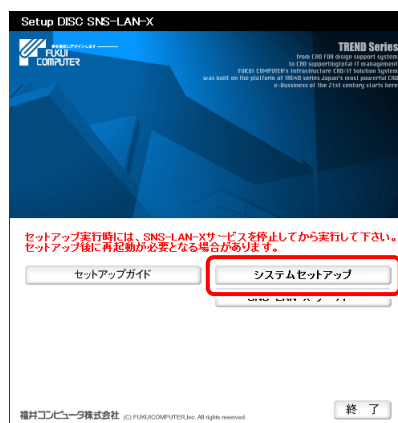


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップや、プログラムの追加購入で、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」は使用しないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。)

2. セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の[Install.exe]を実行してください。

(次ページへ続きます)

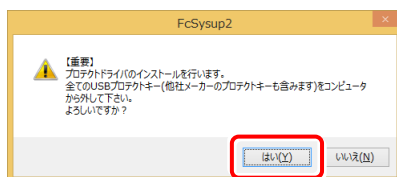
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X] ボタンを押します。



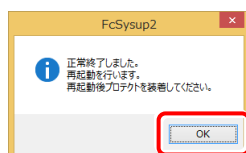
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい] ボタンを押します。



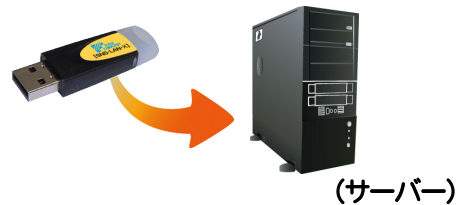
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK] ボタンを押してサーバーを再起動します。

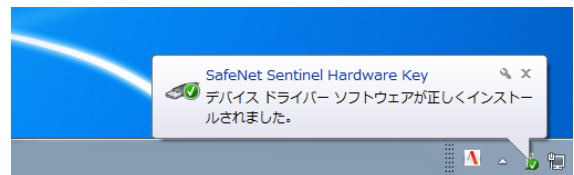
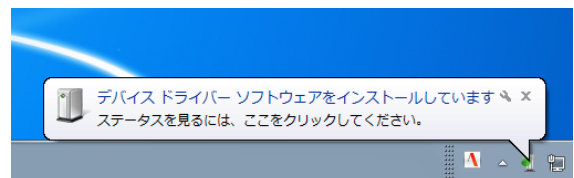


4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。



自動的にデバイスドライバーソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

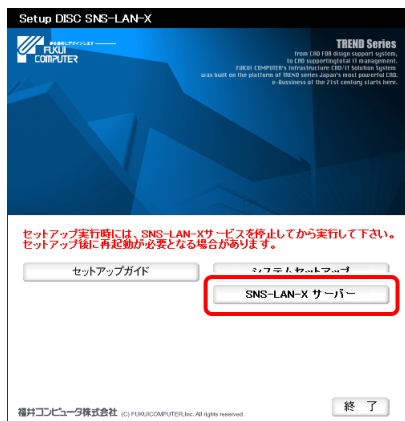
(Windows7の場合は、下のようなメッセージが表示されます。)



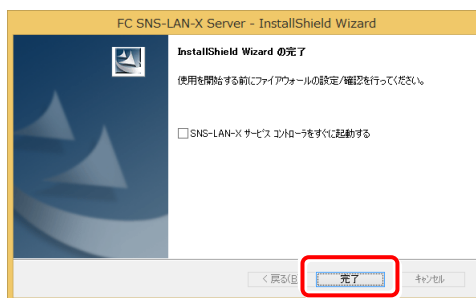
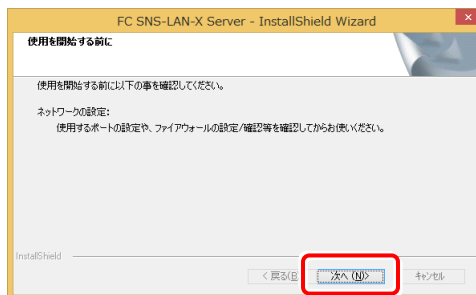
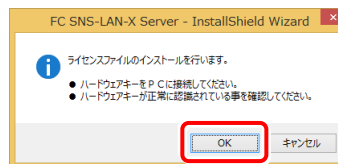
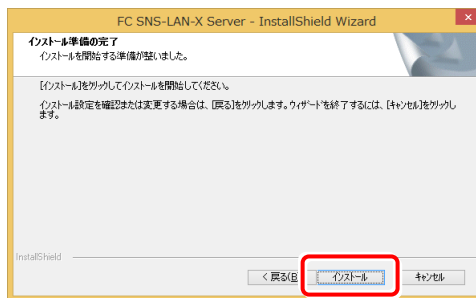
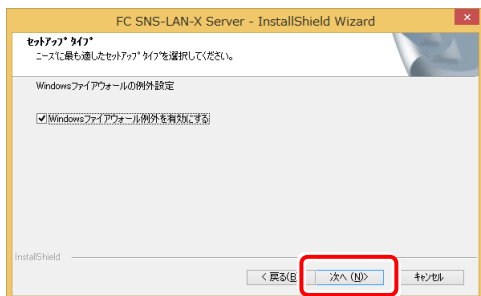
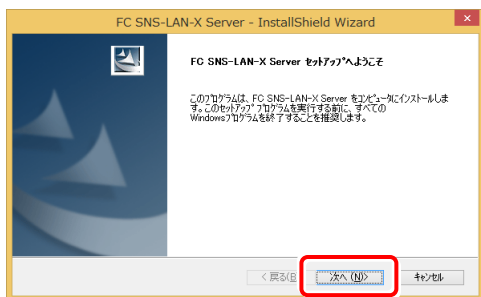
(次ページ「Step2」へ進みます)

**Step2 | 「SNS-LAN-Xサーバー」
(ライセンス管理プログラム)のインストール**

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーで、[SNS-LAN-Xサーバー]ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



以上で【SNS-LAN-X】プロテクトのセットアップは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

続けてプログラムのインストールをおこなってください。

P.3へ

[補足5] JSP-LAN-R のセットアップ手順

USBプロテクト【JSP-LAN-R】を使用される方は、USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、プロテクトドライバと「JSP-LAN-Rサーバー(ライセンス管理プログラム)」をインストールします。

Step1 | システムセットアップ

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着するサーバーに、「インストールDVD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。

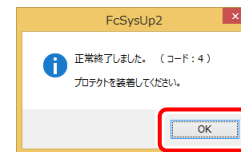


2. セットアップ画面の「USBプロテクトをお使いの方はこちらへ」の文字をクリックします。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の「Install.exe」を実行してください。

3. 「JSP-LAN-R」ボタンを押します。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、一旦再起動してから次の手順に進みます。

(次ページへ続きます)

4. サーバーにUSBプロテクトを装着します。



(サーバー)

自動的にプロテクトドライバがインストールされ、
プロテクトが認識されます。

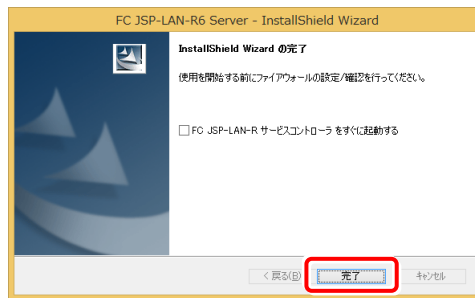
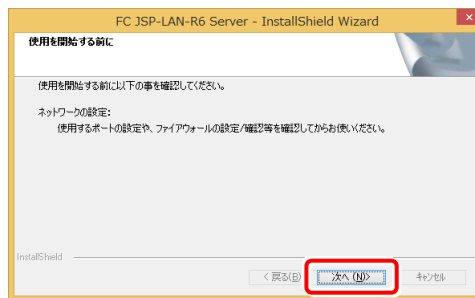
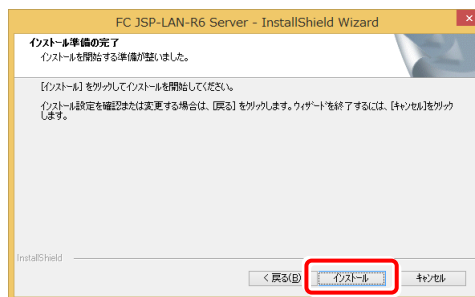
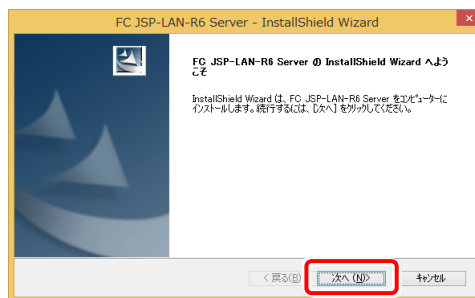
(「Step2」へ進みます)

Step2 | 「JSP-LAN-Rサーバー」
(ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト【JSP-LAN-R】を装着したサーバー
で、【JSP-LAN-Rサーバー】ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、JSP-LAN-Rサーバーを
インストールします。



以上でUSBプロテクト【JSP-LAN-R】のセットアップは
完了です。

続けてプログラムのインストール
をおこなってください。

P.3へ

Q&A

- [Q.1] データのバックアップ先にCDやDVDを指定したのですが、バックアップできません。 26
- [Q.2] 「Antenna House PDF Driver」とは
为什么呢? 26
- [Q.3] 「積算連携ツール」とは为什么呢? 26
- [Q.4] ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、
どこかに資料はありますか? 27
- [Q.5] プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が
表示されて起動できません。 28
- [Q.6] ネット認証ライセンス(LAN)の
ライセンス管理について教えてください。 30
- [Q.7] USBプロテクト【SNS-LAN-X】の
ライセンス管理について教えてください。 31
- [Q.8] USBプロテクト【JSP-LAN-R】の
ライセンス管理について教えてください。 32
- [Q.9] 「FCコンシェルジュ」では何ができる
のでしょうか?使い方を教えてください。 33

Q.1

データのバックアップ先にCDやDVDを指定したのですが、バックアップできません。

A.1

CDやDVDに直接バックアップを取ることは出来ません。

一旦ハードディスク上にバックアップした後、バックアップデータをお手持ちのCD・DVD書き込みソフトを使用して、CDやDVDに書き込んでください。

Q.2

「Antenna House PDF Driver」とはなんですか？

A.2

「Antenna House PDF Driver」とは、PDFを作成する仮想プリンタドライバです。

普通のプリンタと同様にアプリケーションの[印刷]コマンドから出力することにより、PDFファイルを作成することができます。

EX-TREND武蔵 を一括インストールした場合は、自動的にインストールされます。

Antenna House PDF Driver
Copyright (C) 2004- Antenna House, Inc.



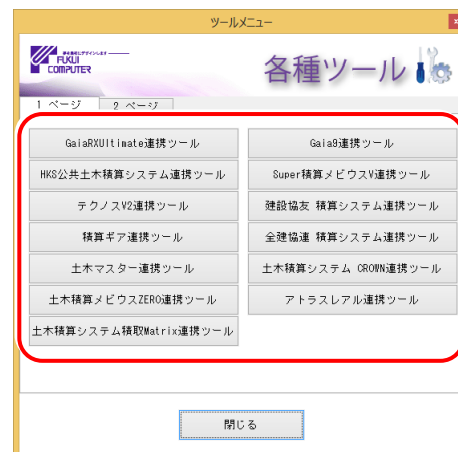
Q.3

「積算連携ツール」とはなんですか？

A.3

「積算連携ツール」とは、各社の積算プログラムからEX-TREND武蔵へデータを連携できるように、環境をセットアップするツールです。

ボタンをクリックすると、対応している積算プログラムが一覧表示されますので、お使いの積算プログラムのボタンを押して、セットアップしてください。



対応している積算プログラムは、追加・変更される場合があります。

Q.4

ネット認証ライセンスの操作解説の資料はありますか？

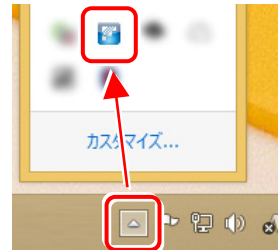
A.4

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面からネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能やお問い合わせのあった内容について記載されています。

開き方

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。



2. FCコンシェルジュが表示されます。
[ネット認証ライセンス]の[ネット認証ライセンス管理]をクリックします。

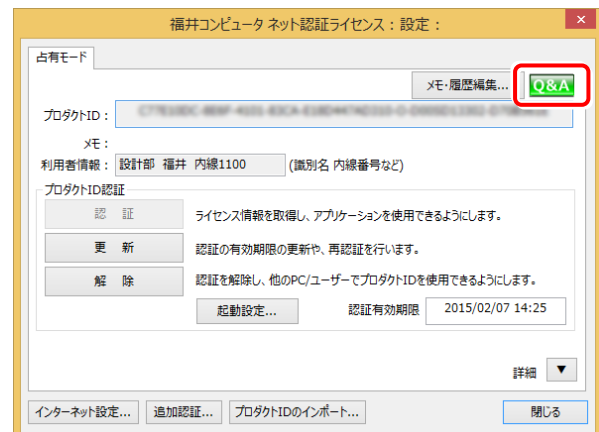
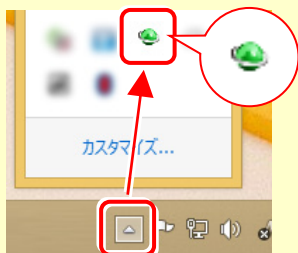


3. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A]ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。

FCコンシェルジュを登録されていない場合、またはFCコンシェルジュがインストールされていない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。



Q.5

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。

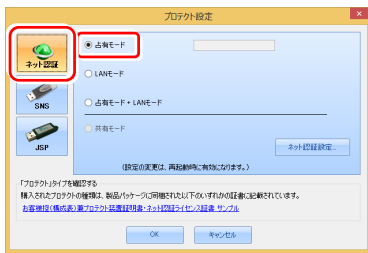
A.5

お使いのプロテクトを選択し、[OK] ボタンを押してください。

(プログラムによって、画面が異なる場合があります)

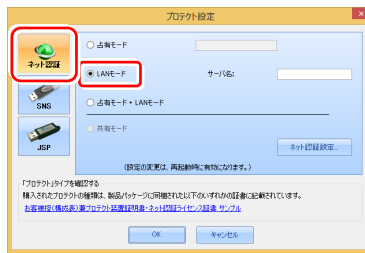
【ネット認証ライセンス(占有)】を使用

[ネット認証] - [占有モード] を選択



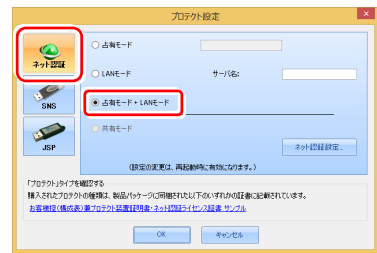
【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用

[ネット認証] - [LANモード] を選択



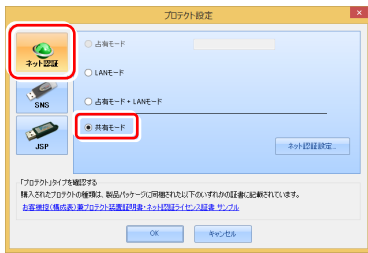
【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用

[ネット認証] - [占有モード+LANモード] を選択



【ネット認証ライセンス(共有)】を使用

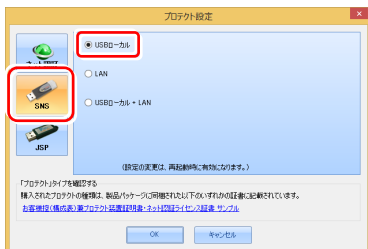
[ネット認証] - [共有モード] を選択



【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名] に、「FCネット認証LAN サーバー」をインストールしたサーバーのコンピュータ名を入力してください。

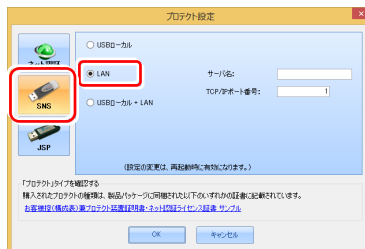
【SNS-W】を使用

[SNS] - [USBローカル] を選択



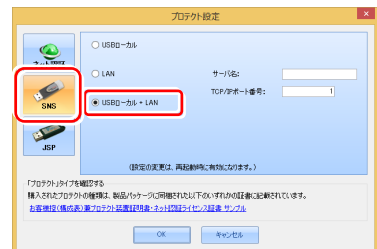
【SNS-LAN-X】を使用

[SNS] - [LAN] を選択



【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用

[SNS] - [USBローカル+LAN] を選択



【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名] に【SNS-LAN-X】を装着したサーバーのコンピュータ名を入力してください。また [ポート番号] には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」※の [オプション] で設定されたポート番号を入力してください。 ※ 31ページ参照

<p style="text-align: center;">【JSP-R】を使用</p>  <p style="text-align: center;">[JSP]-[USBローカル]を選択</p> 	<p style="text-align: center;">【JSP-LAN-R】を使用</p>  <p style="text-align: center;">[JSP]-[LAN]を選択</p> 	<p style="text-align: center;">【JSP-R】と【JSP-LAN-R】を併用</p>  <p style="text-align: center;">[JSP]-[USBローカル+LAN]を選択</p> 
<p>【JSP-LAN-R】を使用する場合は、[サーバー名]に【JSP-LAN-R】を装着したサーバーのコンピューター名を入力してください。</p>		

Q.7

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

A.7

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

● Windows8, 8.1 の場合

Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントロール」で起動します。

● Windows7, Vista の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントロール」で起動します。

[サーバ]
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピュータ名が表示されます。

[ユーザID]
SNS-LAN-XプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザ]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- **[ポート番号]**の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。

- **[使用状況ログ]**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. 「ログの出力」チェックボックスをオンにし、「パス」にログファイルの出力先を設定。（「間隔」と「最大履歴数」は適宜に設定）
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル（ログファイル名+日付）で残され、新たなログの取得が開始されます。

- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.8

USBプロテクト【JSP-LAN-R】のライセンス管理について教えてください。

A.8

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、
「FC JSP-LAN-R6 サーバ」で管理します。

「FC JSP-LAN-R6 サーバ」は、「USBプロテクト【JSP-LAN-R】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

● Windows8, 8.1 の場合

Windowsのスタート画面の「アプリ画面」から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ] - [FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]で起動します。

● Windows7, Vista の場合

Windowsのスタートメニューの「すべてのプログラム」から、[FC JSP-LAN-R6 サーバ] - [FC JSP-LAN-R6 サービスコントロール]で起動します。

[サーバ]
JSP-LAN-Rプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

[ユーザID]
JSP-LAN-RプロテクトのユーザIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始]ボタン
サービスを開始します。JSP-LAN-Rプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止]ボタン
サービスを停止します。

[更新]ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザー]ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション]ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。

[動作ログ]
誰がいつ何を処理したか、およびエラー等の記録を残します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

オプション
接続 動作ログ 使用状況ログ
プロトコル
 名前付きパイプ(N) TCP/IP(I) ポート番号: 0
 クライアントからの接続にWindows認証を使用する(W)

- **[動作ログ]**には、「どのコンピューターが」「何時何分に」「どのライセンスを取得したか」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]に出力先のフォルダーを設定します。
 2. サービスを一旦[停止]ボタンで停止した後、[開始]ボタンで開始します。
このとき[パス]には、必ずローカルハードディスクのフォルダーを設定してください。ネットワークの共有フォルダーの場合、サービスの開始ができません。
- **[使用状況ログ]**には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数])は適宜に設定)
 2. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC JSP-LAN-R サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.9

「FCコンシェルジュ」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

A.9

「FCコンシェルジュ」に登録していただくと、以下のようなサービスが受けられます。

- ご利用の製品に関する、最新の情報をお知らせいたします。
- ご利用の地域でおこなわれる、イベントやセミナーの情報をお知らせいたします。
- Q&Aやマニュアルの閲覧、サポートの電話番号案内やリモートサポートなど、サポートコンテンツをご利用いただけます。
- ソフトウェアをアップデート(最新の状態に更新)することができます。

各種オンラインサービスをご利用できます。



「お知らせ」「自動更新」「サポート」など、福井コンピュータからのお知らせが表示されます。

- ※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。
- ※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

ご利用されているお客様情報が表示されます。

「FCコンシェルジュ」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCコンシェルジュ」を起動します。

